

炎天下の昼下がりに二人がやってきたのは  
目黒川沿いに佇む『目黒清掃工場』  
白い塔のように高くそびえる煙突は  
目黒のシンボルとなっている。

～中略～

「てやんでい、ここが目黒？」

そんなおかしな話があるもんかい」

まくしたてるちよんまげ姿の

男に対して、細身の女性は怪訝な表情。

（時代錯誤の服装に、江戸っ子口調。

この人もしかして……）」

近代設備に目を輝かせ興味関心の向くまま、  
構造や原理について質問する平賀源内。

～中略～

「目黒区ではMGR100※と題して3つの  
R（リデュース・リユース・リサイクル）  
を推進しています。特にリデュース（ごみ  
減量）とリユース（捨てずに繰り返し使う）  
に力を入れ、できるだけごみを出さない  
ことが大切と伝えていきます」

「りゆうす？ってのは江戸でよく  
聞く話だな。着物は繕って着直し、  
着られなくなりや、雑巾やおむつにする。  
紙も紙くず買いつてのが問屋に持っていき  
すき直して売る。ろうそく、傘、草履、釜なんか  
も買い取って直す。限られた資源を  
うまく使って使いまわしてるのさ」

「江戸時代が高度な循環型社会だった  
というのは聞いたことがあります。  
現代でも参考にできることはたくさん  
ありそうですね」

「おいらの知恵が役に立ってんなら  
ひと肌脱ごうじゃねえか」

かくして目黒区に新たな住人が加わった。

ようこそ目黒区へ



12 つくる責任  
つかう責任



※【MGR100】一人一日100gのごみ減量  
詳細は目黒区公式サイトをご覧ください。

